

発言No. 1

受付No. 10

令和 4 年 2 月 15 日

10 時 20 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 6 番 氏名 足 立 豪

答弁を求める者 ☒ 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 在宅介護の支援について

浜田市の高齢化率は37.63%に上昇しているが、国は可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進している。それは、自分の家でできる限り過ごせることを支援するものであり、浜田市としても様々な支援を講じている。

それを前提に伺う。

(1) 在宅支援の現状について

①要介護状態になっても在宅生活を継続する場合、様々な負担が発生するがその中でも重要な家族介護用品支援事業は、在宅で介護を必要としている人が紙オムツ・尿採りパットを利用する場合、一年間に4万円を限度に現物を宅配により支給するものであるが、利用状況を伺う。

②制度改正された理由について

2 保育事業について

日本全国少子化が叫ばれている中、特に浜田市では子育ての大胆な改善なくしては人口減少を食い止めることはできない。

マクロな視点から考えると、30年間に及ぶ日本経済の停滞により労働者の賃金は上が

らず先進諸国の中で最も所得水準の低い賃金体系であり、一方では女性の社会進出に伴い変化した結婚・出産に対する価値観が未婚化・晩婚化へと加速していった。

こうした社会の流れの中でミクロ的にみると、仕事と子育てを安心して両立できる具体的な環境の整備の遅れがあり、それにより結婚に対する不安、子育てに対する負担感の増大などへと、負の悪循環を引き起こしている。

こうしたことを踏まえ、浜田市における子育て環境について質問をする。

(1) 保育園並びにこども園について

①現状について

浜田市には、保育園並びにこども園が27園あり、総定員は1820名となっているが、定員に達していない保育園並びにこども園はどの程度あるのか伺う。

②保育士数について

各園並びに子どもの年齢により、保育士の人員配置基準が定められているが、人員配置ができていない園がどの程度あるのか伺う。